



2014年4月16日
株式会社山陰合同銀行
株式会社日立製作所

山陰合同銀行、日立がクラウドで提供する ATMジャーナル集中管理サービスを導入し稼働を開始

ATM ジャーナル運用コストを大幅削減するとともに情報セキュリティを強化

株式会社山陰合同銀行(取締役頭取:久保田 一郎/以下、山陰合同銀行)は、このたび、株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)がクラウド*で提供する ATM ジャーナル集中管理サービス(以下、本サービス)を導入し、2014年4月1日から稼働を開始しました。ATM ジャーナルとは、ATM 内部にある ATM の取引内容を記録して保存するもので、本サービスは、電子化した ATM のジャーナルデータを取引完了のたびにリアルタイムに収集し、日立の Harmonious Cloud センタで集中管理するものです。

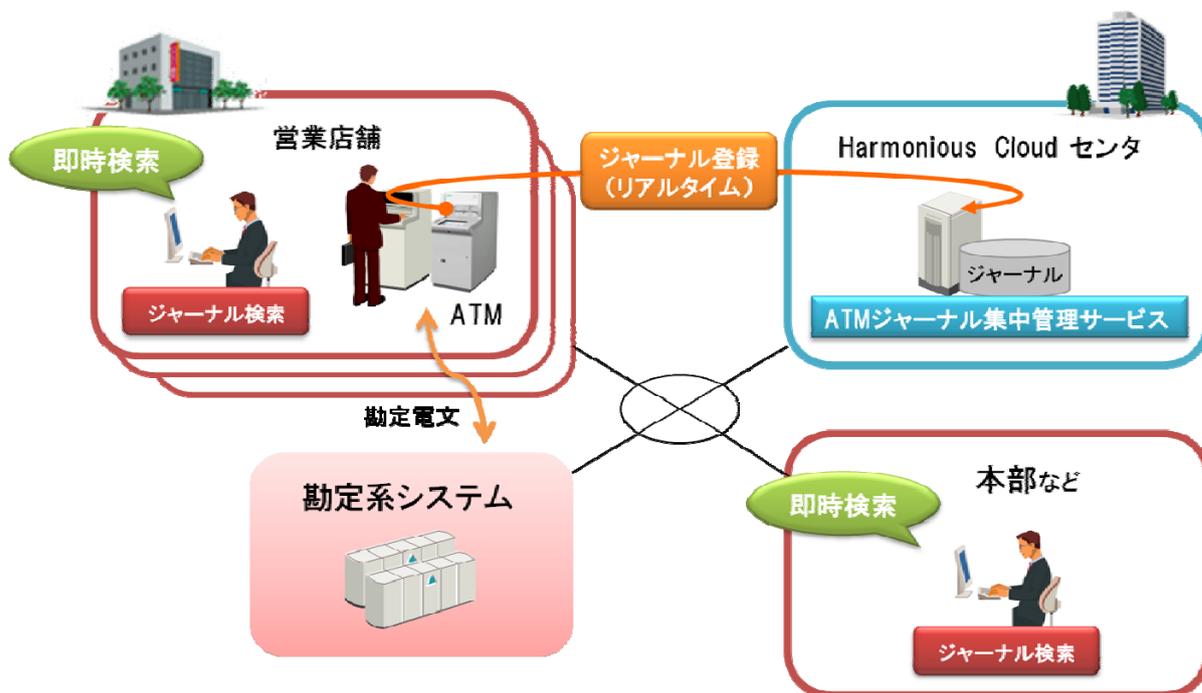
* 本サービスは、日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」(ハーモニアスクラウド)のラインアップである ATM クラウドサービスのメニューのひとつです。

山陰合同銀行は、本サービスの導入により、ATM 約 550 台において従来のジャーナル紙(ロール状の記録紙)でのデータ管理・運用を廃止することが可能となり、用紙の購入、交換、管理・搬送、廃棄といった ATM ジャーナル運用コストを大幅削減することができます。また、紙ジャーナル紛失や盗難等による個人情報や取引データの漏洩リスクを防止でき、情報セキュリティの強化が図られます。さらに、本部や各営業店などから最新のジャーナルデータをリアルタイムに検索・照会が可能のため、データ検索時間の短縮といった、業務負荷の軽減を実現するとともに、年間約 12トン(A4 用紙換算で約 300 万枚)の紙使用削減により、CO2 排出量削減といった環境負荷低減にも貢献します。

山陰合同銀行はこれからも営業店事務の効率化に取り組むことによって、お客さまと接する機会を増やし、より一層のサービス向上に努めてまいります。

また日立は、今後も ATM のさらなる利用価値向上に向け、ATM 運用の基本サービスに加え、金融機関ならびに ATM 利用者の利便性向上に寄与する新サービスの提供を順次拡大していきます。

■ サービス提供イメージ



■ 山陰合同銀行ホームページ

<http://www.gogin.co.jp/>

■ 株式会社日立製作所 金融ソリューション ホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/finance/>

■ 日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」について

<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>

■ 他社所有商標に関する表示

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

以上